

今後の議論の進め方について(事務局案)

1. 実態調査結果から見た議論のポイント

(1) 地域の多様性

- ・規模、設立年数、地域性など
- ・活動分野・頻度

それぞれに異なる状況となっている地域実態を踏まえた議論

- ・様々な分野で活発に活動されている地域がある一方、未加入・脱退や役員のなり手不足など地域コミュニティ基盤の脆弱化が見られる地域がある
→コミュニティ活動活性化および基盤強化策についての議論

(2) 地域課題相互の関連性

- ・「町内会・自治会加入状況」と「近所付き合いへの意識」
- ・「少子高齢化」と「役員を担うことへの負担感」
- ・「参加意識」と「未加入・脱退」ほか

議論を進めるにあたって関連性の整理が必要ではないか

2. 基盤脆弱化の構図と検討課題

別紙資料参照

3. 今後の議論の進め方(事務局案)

別紙資料の「検討課題」ごとにテーマを切り分け、地域の多様性や町内会・自治会等活動推進検討委員会の「議論のまとめ」を踏まえ、地域住民と市それぞれの果たす役割を検討しながら議論を進める。

【検討課題 1】地域活動の重要性の浸透

- ・加入促進活動
- ・町内会・自治会設立促進
- ・重要性の啓発 など

→検討課題 2 以降に関連する発言は、検討課題 2 以降の議論に踏まえる。

【検討課題 2】役員の負担軽減および育成の方策

- ・具体的な改善策
- ・選出方法のあり方 など

→検討課題 3 以降に関連する発言は、検討課題 3 以降の議論に踏まえる。

【検討課題 3】活動の充実

- ・活動の現状と今後
- ・防犯、防災、地域福祉活動等への取り組み
- ・その他個別分野毎の活動
- ・前例踏襲の活動の見直し など

→検討課題 4 に関連する発言は、検討課題 4 の議論に踏まえる。

【検討課題 4】地域連携ネットワーク

- ・地域で活動する団体相互の関係性
- ・各種地域住民団体・NPO 等との連携
- ・連合組織の役割
- ・理想的なコミュニティの規模・範囲
- ・地域と学校の連携
- ・マンション等の町内会・自治会
- ・事業所等への呼びかけ など